



# PAGs 検査

## 新情報「警告表示」の提供開始

2023年6月1日検査分より



「警告表示」で空胎牛の見逃しを減らしましょう！

PAGs 検査では、PAGs 値が判定基準（0.25）以上の検体を受胎（+）と判定していますが、検査の特性上、流産や胚死滅の可能性があっても受胎（+）と判定される場合があります。

今回、こうした「妊娠していない可能性のある牛」の早期発見を目的に、検査結果に「警告表示」を追加することになりました。より使いやすくなった PAGs 検査を今後もご活用ください！

### 表示イメージ) 検査結果リスト

個体識別番号	結果	警告	PAGs値	AI後日数
90006-1107-3	+	*	0.600	42
90006-1146-5	+		1.272	115

該当牛に警告マーク「\*」を表示します！

- ・ 検査結果リスト（FAX・メール）、Web システム DL の全ての結果に表示します
- ・ ご自身で申し込まれる検査、乳検 PAGs 検査オプションの両検査が対象です



### 新しい情報（警告表示）の使い方

該当牛は流産/胚死滅の可能性が疑われます。従来の判定保留（±）と同様に、再検査または獣医師による妊娠確認の実施をおすすめします。

また、警告のない牛についても、空胎の見逃し防止のため複数回の妊娠確認を推奨しています。



### 警告表示が出るのはどんな牛？

受胎（+）判定牛のうち、PAGs 値が平均値を大きく下回る場合（下位 5%）に警告を表示します。

なお、PAGs 値のレベルは、妊娠ステージによって変動するため、AI 後経過日数に応じて複数の判定基準を設けています。

（右表の基準値を下回る牛が警告の対象となります）

AI後日数区分	基準値
①29 - 35日	0.6
②36 - 45日	0.7
③46 - 99日	警告なし
④100-149日	0.5
⑤150-199日	1.4
⑥200日以降	2.4

PAGs 検査に興味を持たれた方は、ご所属の JA・乳検組合まで



## PAGs 検査「警告表示」は DL での確認が便利！

「警告表示」は、空胎牛の見逃しリスクの低減に役立つ情報です。

この情報は FAX だけではなく、牛群検定 Web システムDL でもご確認いただけます！



## 繁殖記録とセットで PAGs 検査結果を確認！ (個体繁殖画面)

PAGs 検査の結果は、個体の繁殖画面に自動的に追加されます。

「警告表示」の対象牛には「胚死滅/流産の可能性あり」の警告メッセージが追加表示されます。

【繁殖情報入力】									
個体識別番号	9999913199	検索	90006-1319-9	名号	ホッカイドウトレジャーリリー				
繁殖ステージ	未授精 (経産)	生年月日	2017/01/28	産次	3産				
日付	繁殖内容	分娩後日数	授精回数	種雄牛略号	ET	受胎	産次	産子性別	分娩難易
2023/05/27	発情予定	639							
2023/05/12	不受胎								
2021/12/15	個体メモ								PAGs検査 +(AI後: 40日 0.476) * 胚死滅/流産の可能性あり
2021/11/06	授精	72	1	198H2140	NR				
2021/08/27	分娩						3	♂	自然
2021/07/14	乾乳	339							



ちょこっとプラス！

検査結果を「受胎/不受胎」記録として反映することもできます。  
設定方法はページの最後で



## 一覧画面で「再検査の対象」をチェック！ (PAGs 検査結果・申込履歴)

FAX 報告される検査結果リストと同じイメージで「警告表示」を確認できます。

警告欄に「\*」の表示された牛に注意してください。

繁殖記録をすぐに確認できるのも Web のメリット。再検査のお申込みも簡単です。

【PAGs検査 検査結果・申込履歴】							
申込日別に表示	牛別に表示	申込日	2023/01/01	~	2023/03/01	検索	
検査日	申込日	個体識別番号	連番	結果	警告	結果数値	申込時最終授精日
2023/01/18	2023/01/16	90006 [1107] 3		+	*	0.600	2022/12/05
2023/01/18	2023/01/16	90006 [1146] 5		+		0.501	2022/11/22
2023/01/18	2023/01/16	90006 [1259] 8		+		0.654	2022/11/30



## 検査結果の一步すすんだ使い方 (繁殖記録としてシステムに反映)

初期設定では、PAGs の結果は「個体メモ」として反映されますが、条件設定で「受胎」「不受胎」の繁殖記録として反映することもできます。

おすすめは、検査精度の高い「-」結果を「不受胎」にする設定です (下左図)。

「+」結果を「受胎」としたい場合は、「警告ありは受胎としない」の選択を推奨しています (下右図)。

## ★受胎判定 ?

NR70を受胎としない	<input type="checkbox"/>
PAGs検査結果+を受胎とする 警告ありは受胎としない	<input type="checkbox"/>
PAGs検査結果-を不受胎とする	<input checked="" type="checkbox"/>

「-」の記録だけを利用

## ★受胎判定 ?

NR70を受胎としない	<input type="checkbox"/>
PAGs検査結果+を受胎とする 警告ありは受胎としない	<input checked="" type="checkbox"/>
PAGs検査結果-を不受胎とする	<input checked="" type="checkbox"/>

警告のない「+」の記録も利用

